

事業名	諸費(技術管理課)			調書番号	86
細事業名	協議会等会費	財務コード	778201		
担当部課室	県土整備 部	技術管理 課	技術基準 担当 (内線)	7155	

I 事業の概要

実施期間	始期	H4 年度 ~ 終期	年度								
実施主体	補助(やまなし魅力ある建設産業推進協議会、建設広報協議会)										
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか								
	県民	公共建設事業の重要性、必要性を理解している	魅力ある建設産業の推進 建設業の担い手確保								
内容	<p>○やまなし魅力ある建設産業推進協議会(CCI山梨)</p> <p>①県民の日記念行事への出席 防災啓発(災害時建設関係者活動)PRパネル 中部横断自動車道、新山梨環状道路PRパネル、自然災害体験者等 記録的豪雪への対応事例の展示、県土建設写真コンクール入賞作品展示</p> <p>②建設まつりへの出席 建設機械試乗体験、公共事業PR ※(社)山梨県建設業協会と共催</p> <p>③建設現場優秀技能者の表彰(14人) ※(社)山梨県建設業協会、(社)山梨県建設技術センターと共催</p> <p>④実業高校生との合同現場研修会(R1年度から本格実施) 開催予定:令和元年10月 主な研修内容:工事現場見学・ドローン空撮見学</p> <p>○建設広報協議会 国土建設事業に関する広報・宣伝等</p> <p>平成30年度負担金内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>・山梨県</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>・(社)山梨県建設業協会</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>・(社)山梨県建設技術センター</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>500千円</td> </tr> </table>			・山梨県	300千円	・(社)山梨県建設業協会	100千円	・(社)山梨県建設技術センター	100千円	計	500千円
・山梨県	300千円										
・(社)山梨県建設業協会	100千円										
・(社)山梨県建設技術センター	100千円										
計	500千円										

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	イベント来場者 (H26実業高等学校学園祭) (H27以降:県民の日記念行事)	目標	1,300	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
	実績(見込)	1,300	65,000	95,000	75,000	85,000	90,000	
	達成率	100.0	81.3	118.8	93.8	106.3	112.5	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	イベント来場者のうちCCIのブースを訪れた人数	目標	375	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績(見込)	380	1,000	1,300	1,200	1,300	1,500	
	達成率	101.3	66.7	86.7	80.0	86.7	100.0	
	達成区分	b	c	b	b	b	b	
決算(予算)単位:千円		345	345	345	345	345	350	350

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	CCIブースへの来訪者は、概ね目標を達成していることから、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(県民に公共建設事業の重要性、必要性の理解促進を図り、魅力ある建設産業を推進するためには、県が国、市町村・業界団体等と連携を図りながら取り組むことが効果的であることから県の関与が必要である。)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	公共建設事業の重要性、必要性の理解促進を図る取り組みを継続して行うことにより、魅力ある建設産業の推進につながる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	県民の日記念行事におけるCCIブースへの来訪者が目標値を概ね達成していることや、毎年10~20名程度を建設現場優秀技能者として表彰する等、建設技能者の社会的地位の向上や担い手の確保に繋がる取り組みにより一定の成果をあげているが、今後は更に、出展ブースへの来訪が少ない高校生を対象とした事業展開を図り、次世代の担い手確保対策を強化していく必要がある。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	建設産業の次世代の担い手確保を目的とした実業高校生との合同現場研修会を平成30年度に試行的に実施したところ、参加した多くの高校生から建設業のイメージが向上したことやICT施工に興味を持った等の感想が得られ、効果的な取り組みであることから、今年度から本格実施することとした。
------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。